

一般質問

● 6月議会で16人の議員が市政全般について質問しました。 ●

〃用途地域農地

「黒土」の保存 対策は早急に〃

前川議員

(1)農林行政について

用途地域農地（古賀島町、富の原地区等）の転用に係る「黒土」の保存対策について。

大村特産「黒田五寸人参」は鮮明な色で、食味も良く、野菜ジュースの素材のもとである。黒田五寸人参の産地保存について、農地から宅地への転用により黒土が半永久的、建物の下敷きとして陽の目を見なくなる状況であり、本市としての基本的な「黒土」の保存対策をどのように考えているのか。

(2)教育行政について
大村市陸上競技場の全天候型公認競技場としての考えはないのか。現在全天候型でないため、雨天後早急に大会等が開催できない。県庁として交通網等の好条件を持ちながら、県大会、九州大会等の公認競技大会の計画

ができない。将来を見据えて年次改良計画等の考えはないのか。

市長 (1)農地の黒土の保存としては、特に対策は行っていないのが現状であるが、これまでは所有者において多様な処理がなされてきている。今後、農地所有者の意向に沿った形で対応していかなければならないが、大村特有の野菜生産の優良な土壌であり、その利用方法等について、農業委員会など関係機関と十分に協議を行い、黒土の保存に向けて取り組んでいきたい。

(2)大村市陸上競技場は、昭和27年11月3日に九州で3番目に公認された歴史ある陸上競技場である。現在トラックを活用する陸上競技や多目的にグラウンドゴルフ等にも利用されているが、歴史ある競技場でもあり、スポーツを通じて市の活性化を図っていきたい。また、市民の要望にもこたえていくということで全天候型を視野に入れていきたい。

財源の問題は確かにあるが、それも含め検討し前向きに取り組む方向で努力していきたい。(その他の質問事項)
・宮小路三丁目、黒丸町(境)道路整備
・富の原二丁目側溝蓋整備
・宮小路公園再整備の進捗、農集排地区下水道



大村市陸上競技場：上

黒田五寸人参の種：下



条件付一般競争入札のあり方、および高齢者の住宅確保について

田中秀和議員

(1)総務行政について

平成10年度当初予算310億円のととき、投資的経費が98億円、構成比率で31.61%。それが15年度は33.6億円に対して52億円、15.48%、今年度は300億円に対して25億円、8.33%と、10年で1/4規模となってしまう。公共工事中心の企業にとつての厳しい現状は、市も十分認識していると思う。この状況で数少ない市の発注工事だけはせめて市内業者で仕事をしてもらうようにすることは当然のことと考えるが、市の方針は、(2)都市整備行政について
高齢者の一人暮らしや老夫婦世帯にとつて、郊外の広い一戸建ては、多くの部屋の掃除や広い庭の管理は自分自身では難しく、車の運転ができなくなれば生活も不便になる。そこで、持ち家を子育ての世代等に貸し、中心街のアパートなどに住み替える、マイホーム借り上げ制度の活用を。また新たな住み替えの場所として、中心街に高齢者向け優良賃貸住宅の整備推進を。